

社会福祉法人 友愛十字会

2014

7・31

No.41

ゆうあい

題字 初代総裁三笠宮崇仁親王殿下



平成26年7月3日総裁瑶子女王殿下ご視察の際、友愛ホーム「のびのびグループ」の音楽療法に特別参加され、歌に合わせて波の音を奏でられた。

主な記事

- | | | |
|--------------------|--------------|------------|
| ○総裁就任挨拶 | 総裁 | 瑶子女王殿下 |
| ○第三代総裁瑶子女王殿下をお迎えして | 会長 | 佐々木典夫 |
| ○理事長就任にあたって | 理事長 | 小林和弘 |
| ○常務理事就任にあたって | 常務理事 | 金井博 |
| ○新施設長紹介 | 友愛デイサービスセンター | センター長 木村浩二 |



総裁就任挨拶

社会福祉法人 友愛十字会

総裁 瑠子女王

このたび友愛十字会の新総裁となりました寛仁親王の次女の瑠子でございます。執筆は、残念なことに父に似ず不得意分野でございますので、皆さま温かい目で、ご覧頂ければ幸いです。

の意味で理解して貰えない環境にいると感じています。

今回、内容は自由とのことでしたので、「父」について書いていこうと思います。皆さまは、「父」について、どういうイメージをお持ちでしょうか？「何事にも細かい」、「負けず嫌い」、「口が悪い」、「オシャレに気をつかう」、「ママ」など色々あるかと思いますが、これら全て娘から見ても同じでした。父は、人との繋がりをとても大切にし、本当に誰に対しても裏表のない、素直で人間臭い人だったと思います。そして、誰よりも寂しん坊で誰かに甘えなかった人だと思っています。「皇族」の立場、肩書きというのは、全てにおいて恵まれていると思われられるかもしれませんが、一番孤独で、本当

「生まれながらの皇族である父」と「生まれながらの皇族であり、いつかは一般の世界で生活する娘」は、男性と女性という違いで理解し合えない部分や、同じように出来ない部分もありましたが、やはり特に似た者同士の私たちは、今まで様々な壁と一つ一つ毎回向き合っており、私たちなりにそれぞれの壁と対決をし、苦悩し続けながらも生きてきたと思っています。

父を亡くしてみると、「分かって貰えなくても、もつと自分の想いを打ち明けておけば良かった。」「もつと色んな事を聞いておけば良かった。」など様々な思いがあらゆる局面で出てきます。父の決断力、人望、行動力は、本当に凄いものだったと、公務の場だけでなく、内輪の事務官との打ち合わせの中ですらより気づかされています。例え父の娘であっても、

父がいた時のように、周りが同じように動いてくれる、分かってくれる保障はどこにもありません。

勿論、父が築き上げてきたものはあるわけですが、それをどうやって娘の私が崩さずに、薄くても、どう積み重ねていくのかが問題であり、役目でもあります。何より自分自身というものを、しっかりと周りに分かって貰い、自分の想いを少しずつであつても、ちゃんと伝えていくこと、そして自分の色も足しては出来ないということです。

正直なところ、「荷が重すぎる」というのが本音ですが、少しでも父の想いや願いが、より多くの方々に広まっていくために、悩んで苦しんで、少しでも前に進みたいと思っています。

父と今まで関わってきた全ての皆さまに、「さすが寛仁さまの娘さんだ!」、「やつぱり寛仁さまの娘さんだ!」と言って頂けるよう、頑張っていきたいと思っています。そして何より天国にいる父に、「さすが俺の娘だ!」と言って貰えるよう、公私問わず、少しでも多くやっていきたいと思っています。

特に昨年で三十路となった私ですので、私の「私」の部分も、真剣にそして大切にしていかなないと、思っております。「公」の部分で、しっかりとお役目を果たして、「私」の部分で

も、父に「おっ！ようちゃん、なかなかやるじゃないか！」と言つて貰えるように、早くなりたいと思う毎日です。



第三代総裁瑠子女王殿下をお迎えして

社会福祉法人 友愛十字会

会長 佐々木 典夫

この春、友愛十字会は、故寛仁親王殿下の第二女子であられる瑠子女王殿下を、初代三笠宮様、第二代寛仁親王殿下に続く第三代総裁に御推戴申し上げることになりました。誠に嬉しく、ありがたいことであります。瑠子女王殿下におかれましては、どうぞよろしくご高導を賜りますようお願い申し上げます。

第二代総裁寛仁親王殿下が平成二十四年六月六日に薨去されて二年になります。友愛十字会執行部としては、六月十四日の斂葬の儀を経て、五十日祭を過ぎたところから、第三代総裁も引き続き三笠宮家・寛仁親王家の跡を

継ぐ方にお願ひできないかという希望を持ち、百日祭を過ぎたあたりから要望に動きたいと思っております。たまたま、そのような希望があるなら早めに宮内庁の担当課に希望を添えて相談するのが良い、との前宮内庁長官羽毛田信吾氏の助言も頂け、平成二十四年八月二十九日には宮内庁の宮務課に、友愛十字会の概要と三笠宮家とのかかわりについて説明し、これまでのご縁をもとに寛仁親王家の跡を継がれる方に総裁にご就任頂けるとありがたい旨のお願ひをいたしました。

平成二十四年十一月十九日開催の役員会に

おいて、私から、寛仁親王殿下が薨去されてからの斂葬の儀や百日祭の儀などについての友愛十字会の対応をご報告するとともに、後継総裁について「友愛十字会は、創設初期から初代総裁の三笠宮様に二十二年間、次いで第二代寛仁親王殿下に三十八年間、併せて六十年にわたつて総裁をお願い申し上げ、言葉では尽くせない多大なお力を頂戴してきた。ついでには、できることなら引き続き三笠宮家の寛仁親王家の跡を継ぐ方に総裁をお願いしていきたい。」旨をご説明し、「了承を得ました。」

その後、寛仁親王家では後継の方がなかなか決まらないなどの事情がありまして、直接、寛仁親王家にお願ひに上がったのは、寛仁親王殿下墓所一周年祭の儀を経てからで、平成二十五年七月十二日に佐藤宮務官を訪ね、友愛十字会の希望を述べ、お執り成しをお願いしました。同年十一月六日に至り、「総裁については彬子様、瑠子様両女王殿下が話し合われた結果、瑠子女王殿下がお受けになられることので了承が得られた。」旨の内意を頂くことができましたので、平成二十五年十一月二十日の友愛十字会役員会において「瑠子女王殿下の総裁推戴について」全会一致で議決し、同

年十二月十八日付で、「瑠子女王殿下の「社会福祉法人友愛十字会総裁」ご就任について（お願い）」の文書で宮内庁宮務主管宛に申請いたしました。

こうした経過を経て、平成二十六年一月十四日に瑠子女王殿下が友愛十字会総裁ご就任をご承諾になられた旨、二月四日付で宮内庁より通知を受け、友愛十字会第三代総裁として正式に決定されたものであります。

本年二月十九日に、私と常勤の石井、墨野倉、金井の三理事とで寛仁親王家に上がり、瑠子女王殿下にお礼とご挨拶を申し上げます。瑠子女王殿下からは、「父のDNAを引き継ぐものとして、父と同じように活動的にやっていきたい。施設の現場も訪問し、必要な行事には出席して、職員の皆さんの士気が高まり、利用者の皆さんも喜ぶようにしていきたい。」との積極的なありがたいお話を賜りました。この際に、役員会へのお出ましとお言葉をお願いし、三月二十七日の役員会にご臨席賜り、役員をご紹介申し上げた上で、総裁としてのご挨拶を賜りました。

瑠子女王殿下におかれては、早速、七月早々から、法人本部のある世田谷の施設・事業所

のご視察を皮切りに、順次、港区障害保健福祉センター、板橋区の東京聴覚障害者支援センター、町田市の友愛荘を精力的にご視察いただく運びとなっております。

新年度から友愛十字会は、会長兼理事長の私は代表権のない会長に、石井専務は参与の回り、新たに小林和弘理事長を迎え、留任の墨野倉常務理事に加えて金井常務理事（事務

局長）、新垣理事（経理部長）とする執行役員
の体制にいたしました。

今後は、新総裁瑠子女王殿下のもと、役員一丸となつて、時代の変化に即応した障害者や高齢者の福祉に関する諸事業の推進に一層の努力を傾け、社会福祉法人友愛十字会の更なる堅実な発展を期してまいりたいと存じます。



総裁ご視察 港区立障害保健福祉センター



総裁ご視察 友愛荘



理事長就任にあたって

社会福祉法人 友愛 十字架会

理事長 小林 和 弘

この四月に理事長に就任した小林です。改めてましてどうぞよろしくお願いいたします。

簡単に自己紹介させていただきますと、生まれも育ちも東京の江戸川区小岩で、三十年そこに住んでいましたが、結婚を期に離れてからは世田谷区、広島市、港区、川崎市、名古屋市、船橋市と移り住み、二年前に生まれ故郷の小岩に三十年ぶりに戻ることとなりました。住み慣れた地の安心感はやはり何とも言えないものがあります。

厚生省・厚生労働省に三十三年四ヶ月勤務しましたが、中でも社会局、児童家庭局、老健局に通算十一年三ヶ月在籍し、福祉分野への馴染みが深かったこともあり、退官後の平成二十年八月から全国社会福祉協議会副会長を五年近く務めることになりました。今更ながら福祉の世界とのかかわりの長さを実感しつつ、今回のお話を初めてお聞きしたときもこのような福祉との縁の濃さからの故かと感じた

ところでした。とはいえ、福祉行政や総論的福祉政策の経験はありますが、個別具体的な社会福祉施設の経営や事業運営という面に関しては余りかかわったことのない私には、歴史と伝統ある友愛十字架会理事長職は正直、荷の重いものでありお受けすることに躊躇するところがありました。ただ、一方で、自分の知識や経験が、これまで長くお世話になつた福祉の分野でいささかでもお役に立つのであれば、自分の社会人生の締めくくり時期にさしかかりつつある今であればこそ精一杯努めるべきではないかと思うに至り、理事長をお受けする決心をした次第です。尊敬する先輩である佐々木会長が引き続き会長としてご指導をいただけたらというのも、私の決心を後押ししてくれました。四月の第一週から第二週にかけて世田谷本部の各施設をはじめ、港区の障害保健福祉センター、板橋区の東京聴覚障害者支援センター、町田市の友愛荘、厚生労働省内の友愛書房を

駆け足で一巡し、それぞれの施設長さん方から現状と課題をご説明いただきました。多様な施設種別を多数経営するだけに、施設の建て替え問題や、地元地方自治体との関係、提供する各種サービスの充実等様々な多くの課題を抱えながら職員の皆さん方が日々の事業運営に心砕いている様子を垣間見ることができました。昔から「課題解決の解は現場にある」といいます。今後とも様々な機会を捉えて、現状を見て、聞いて、考えることに努めたいと思います。

社会福祉施設の運営や事業展開に当たって心すべきことを私なりに整理すれば「利用者へのサービス内容の充実」「働く人たちのやる気と生きがいの向上」「所在する地域への貢献」という三点が重要ではないかと考えています。また、第二代総裁故寛仁親王殿下の強調されていた「自立」と「共に生きる」という視点も忘れてはならないものです。これまでの歴史と伝統をしつかりと引き継ぎながら新しい時代の要請に確実に対応していける友愛十字架会としていくため、新総裁瑤子女王殿下のもと、役員員一丸となつて諸課題に取り組みでいきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



常務理事就任にあたって

社会福祉法人 友愛 十字会
常務理事 金 井

博

介助・支援に当たってほしいと言っております。今後もそれを貫きたいと思っております。

当法人は、法人の理念として「人権尊重、自助・共助、品質」、経営理念として「顧客本位、独自能力、職員重視、社会との調和」、経営ビジョンとして「高いサービスの質で信頼される組織をめざす。」ことを掲げ、障害者から高齢者まで多種多様の施設経営を行っておりますが、人材の確保定着・法人施設の安定運営・施設の建替え等々多くの課題を抱えています。

そして今新たに、社会福祉法人のあり方の中でその透明性が大きく問われているところがございます。

これらを一つずつできるだけ早く解決していかねばならないと思っておりますが、その簡単なことではありません。これらの解決のためには、小林新理事長のもとに役員員の絶大なご理解とご協力がなければ、決して解決できるものではないと思っております。そして、ご利用者・ご家族、地域の皆様、後援会、世田谷区、関係団体等からより一層の信頼を得られる法人としていく努力をしまっている所存ですので、どうぞよろしくご指導をお願い申し上げます。

四月一日付けで、図らずも石井専務理事の後を担う常務理事を拝命いたしました金井でございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

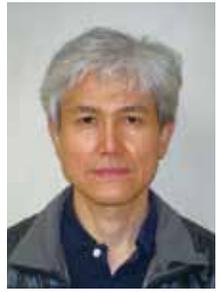
今回の法人執行体制変更につきましては、佐々木理事長は、最近の社会福祉への環境の変化に伴い、執行体制の若返りを図り、堅実な友愛十字会の発展を期する運営をしていく必要があるということ、新理事長には非常勤ながら週一日出勤してもらい、ガバナンスの強化を図るといふものでした。

石井専務理事は職員として三十四年間、また役員として十九年間の実に五十三年間の長きにわたり友愛十字会の発展のために大変なご尽力をされてこられており、まさに友愛十字会の生き字引的な存在であります。私は、このような方の下で五年間総務部長・事務局長として、ご指導を賜りましたがとても足元にも及びません。常務理事として数か月があっ

という間に経過いたしました。今更ながら、六十三年の歴史と伝統のある友愛十字会という、本当に大変な法人の役職を引き受けてしまったなというのが本音でございます。

幸いなことに、第三代総裁には、ご利用者のために積極的なお考えの瑤子女王殿下をご推戴いただけることになりました。そして、新理事長には、福祉行政に非常に精通された方である小林和弘理事長をお迎えすることができ、佐々木前理事長には会長として、また、石井専務理事には参与として、それぞれ引き続きご指導をいただけますので、自分なりに精一杯頑張るしかないかなと思っております。

日頃私は、全てについて言えることだと思いませんが、特に福祉の仕事は、ご利用者が今何をしたいのか何を望んでいるのか、相手の立場に立って同じ目線で物事を考え、自分だったらこうしてほしいと思うことを考えながら、



新施設長紹介

友愛デイサービスセンター
センター長 木村 浩 二

日頃は友愛デイサービスセンターの運営にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。昨年十月に友愛デイサービスセンターに参りまして、早いもので八か月が経ちました。未だに施設長としての責任の重大さに身の引き締まる思いと、私にこの大任が務まるのかという不安が交錯しております。

当センターに参りまして、施設運営に対するご家族の関心の高さに驚きました。お忙しい中でも、家族会や懇談会に毎回出席いただく方も多く、大変感謝いたしております。これほどまでにご協力をいただいているご家族の信頼を得ていくことが、私の最初の使命であり、そのためには豪儀な抱負を語るのではなく、新たな課題に対しひとつひとつ真摯に向きあつて行くしかないと思っております。

さて、話は変わりますが、我国も今年の一月二十日によりやく障害者権利条約を批准

しました。アジアでは中国や韓国などがすでに批准しており、日本は世界で百四十一番目。締約国は、市民的・政治的権利、教育を受ける権利、保健・労働・雇用の権利、社会保障など障害者保護への取り組みが求められ、条約に基づく義務の履行について定期的に国連に報告することになります。この条約批准により国内法も整備され、将来的には社会の障壁も除去されていくことと思いますが、現実にはまだまだ社会資源も充実しているとは言えません。特に当センターを利用されている方々のように重度の障害を持たれている場合、その生活の多くを、今尚、ご家族の支援に頼らざるを得ない状況です。この課題を地域社会全体のことと捉え、関係する社会資源が連携して障害のある方やそのご家族を支えていく施策として「相談支援事業」が推進されています。このサーヴィスが浸透するには時

間がかかるようですが期待は大きく、当センターも単なるデイサービスの提供にとどまらず、関係者との連携によるトータル的なサーヴィスの提供に一役を担ってまいりたいと思

います。

私が当センターに参りまして強く感じたことがもう一つあります。それは職員のご利用者支援に対する熱意です。毎日ご利用者のために奮励する姿には頭が下がります。そんな熱い彼らと一丸になって、「障害のある方が地域でその人らしく暮らすために」の実現に向けて努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



善意のかずかず

次の方々から善意の金品のご寄贈を頂き、また、利用者及び施設に對しましても、数々のご奉仕等を賜りました事に対して、心より御礼申し上げます。

(平成二五年四月一日〜平成二六年三月三一日)

(寄付金) 敬称略

○友愛十字会

上窪精一郎、昭和女子大学付属中学校・高等学校生徒会、J A 東京中央千歳地区女性部、坂田淳、関東ボウリング場協会、株式会社福祉施設共済会、秋山隆子、石井アサ子、河島サト、大島弘之、浅山恵子、川上敬子、濱中米子、佐々木敏子、長島日出男、井上善雄、濱口武、山本佳正、藤崎弘起、新井電気工業所、石川晝店、井上建設株式会社 代表取締役 井山博文、大蔵住宅自治会、大蔵東部町会、法人格砧町自治会、砧町町会、T M C 通り商店街、祖師谷商店街振興組合 石川征男、砧幼稚園 園長 坪井徳明、おしやれ床やポヌール 日赤奉仕団砧出張所分団 小川恵以子、山野小学校 校長 溝口純、リビングストアータカハシ 高橋ヤスエ、和響太鼓 木村忠敬、和響太鼓、株式会社 K S P ・ W E S T 行谷暁雄、有限会社大蔵自動車商会、圓光寺 内藤壽昭、中央東京ヤクルト販売株式会社 世田谷支社、世田谷区社会福祉協議会 会長 飯田恭次、ヘアーサロン スタート、有限会社砧いしい、世田谷区社会福祉事業団 理事長 若林謙一郎、

世田谷区身体障害者福祉協会 会長 杉田春義、レイアロハスタジオ、砧町自治会 岩崎さよ子、砧町町会 汐見敏治、ミニデイきぬた 汐見敏治、砧まちづくりセンター、砧総合支所 小山紀久江、堀輝雄、世田谷区 I K K 福祉協会、伸光エンジニアリング株式会社 佐川弘、世田谷区保健福祉部 障害者地域生活課、全 国建築物飲料水管理協会 東関東支部長 西村 勝彦、松永瑞静

○世田谷施設関係

天理教北多摩東部支部 赤坂雅世、小林昭子、武田整形外科 武田忠浩、砧協会 協会学校、松本三郎、濱中米子、木下富美子

○友愛荘

菅野昭正、矢沢秀子、忠生四丁目町内会、忠生霊地区自治会、凶師寿会、金井、大矢昇、ひまわりの会、凶師町内会、株式会社 K S P ・ W E S T、阪田悦子、友愛荘家族会、若林照雄

○東京聴覚障害者支援センター

志村城山町会、名取栄根、有限会社八百幹、株式会社 K S P ・ W E S T

(寄付物品) 敬称略

○友愛十字会

元柏朋会、東京都共同募金会、高橋順子、朝日新聞サービスマンカー ASA 大蔵、さわやか信用金庫 支店長 眞壁武彦、読売センター 砧、天理教塚原ヤエ子

○友愛荘

友愛荘家族会、三家寿会、太田房子

(奉仕活動) 敬称略

秋山一代、青山健児、小林健太郎、高橋節子、丹治睦子、大沼経子、黒田真実、福永春美、村山すみよ、中原和江、村山すみよ、慶応大学ライチウス会、小島修治、山田美里、破石 恵美、桑原由起、目黒和子、久保山由美子、森安子、藤田悦子、吉田恵奈、長谷川りゑ子、岡田知子、若竹会、ガールスカウト東京都連盟第61団・第72団、ボーイスカウト東京都連盟第10団、砧幼稚園、砧幼稚園ママさんコーラス、砧教会・教会学校、海上自衛隊横須賀音楽隊、日本たばこ産業株式会社、上井正次、松本三郎、日赤分、光寿会、藤の会、大蔵ふたば保育園、梅津美千代、向井忠彦、柳井洋子、馬場光江、よみきかせボランティア藤の会、斉藤富美子

職員異動

平成25・4・1～平成26・6・30

○役員
就任 総裁 瑠子女王殿下 26・1・14
理事長(非常勤) 小林 和弘 26・4・1
参与(非常勤) 石井 晃 26・4・1
常务理事 金井 博 26・4・1
退任 理事長(非常勤) 佐々木典夫 26・3・31
(会長は留任)

専務理事 石井 晃 26・3・31
○法人本部事務局
採用 事務員 石井 直美 25・4・1
事務員 渋谷 峰子 26・6・1
退職 企画部長 多田 金稔 26・3・31
事務員 水野 登 26・6・30
昇任 主任事務員 池田慎一郎 26・4・1
併任 総務部長 大平 敏夫 26・4・1
企画部長 宮崎 浩 26・4・1

○世田谷更生館
採用 生活支援員 小出 智子 25・4・1
職業指導員 櫻井 浩司 26・2・1
退職 職業指導員 石合 幸雄 26・3・31
昇任 主任生活支援員 吉岡 一樹 26・4・1
○友愛園
採用 生活支援員 宗村 圭子 25・4・1
生活支援員 田村 孝恵 25・4・1
生活支援員 林 敏信 25・7・1
生活支援員 市村 慶子 25・9・1

生活支援員 小山 友輝 26・2・1
生活支援員 植木 宏 26・4・1
看護師 藤森 洋志 26・5・1
主任看護師 村山すみよ 25・6・30
生活支援員 関根 基世 25・7・5
生活支援員 高橋 正明 25・7・31
看護師 田村 孝恵 25・9・20
生活支援員 奥田 勝彦 26・1・31
看護師 藤森 洋志 26・5・29
昇任 主任生活支援員 宮下 恒一 25・10・1
副主任生活支援員 青木 博行 26・4・1

友愛アイサービスセンターへ昇任のうえ配置換え(転出)
主任生活支援員 木村 浩二 25・10・1
採用 生活支援員 佐藤 明子 25・4・1
看護師 伊藤 清美 26・4・7
退職 生活指導員 澤本 徹也 25・4・30
施設長 宮内 睦 25・12・1
看護師 中島マシミ 26・3・31
昇任 副主任生活指導員 松谷 寛子 26・4・1
友愛園より昇任のうえ配置換え(転入)
施設長 木村 浩二 25・10・1
(11月30日まで施設長付)

○友愛ホーム
採用 支援員 小出 俊也 25・4・1
支援員 原 直子 25・4・1
支援員 大吉 信子 26・6・16
退職 支援員 日野 彩香 25・4・30
主任支援員 森田 美枝 26・3・31
支援員 長野 由美 26・3・31

昇任 養護部長 小泉 貴宏 25・4・1
友愛荘より配置換え(転入)
主任支援員 早田 政治 26・3・1
砧アイサービスセンターへ配置換え(転出)
生活相談員 森 亜紀 26・4・23
介護職員

採用 介護職員 青木 麻美 25・4・1
介護職員 中井梨夏子 25・4・1
介護職員 村田 加奈 25・4・1
介護職員 大内隆太郎 25・4・1
事務員 岩上 浩治 25・4・1
事務員 上杉 宏美 25・4・1
介護職員 島村 徹也 25・4・22
介護職員 福沢 舞香 25・6・1
看護師 篠崎美津子 25・6・1
看護師 座間 春美 25・8・1
介護職員 松島 未来 25・11・1
介護職員 峯元 貴子 25・12・1
介護職員 新津健太郎 26・1・1
介護職員 山下 憲司 26・2・1
看護師 近藤寿美江 26・2・1
生活相談員 庄司 美鈴 26・2・1
介護職員 井上 成美 26・3・17
介護職員 徳田 圭亮 25・4・30
介護職員 青木 麻美 25・5・15
介護職員 飯樋 幸子 25・7・31
看護師 谷口美沙子 25・12・31
介護職員 岡本 雄一 26・1・15
看護手 越智 尊恒 26・1・31
看護師 井口喜代美 26・2・28
介護支援専門員 村岡 啓子 26・3・31

退職
看護師 村岡 啓子 26・3・31
介護支援専門員 村岡 啓子 26・3・31

平成26年度
主な行事予定

- 毎月 誕生会(砧ホ・荘)
ゆとり外出(友デ)
調理(アミ)
アート(アミ)
- 4月 お花見(園・友デ・友ホ・砧ホ・砧デ・聴・荘)
開始式(アミ・アク)
はじめの会(パオ)
- 5月 宿泊訓練(友デ)
一泊旅行(友ホ)
ホーム喫茶①(友ホ)
端午の節句(砧ホ・砧デ)
外出支援(聴)
春の園遊会・運動会(荘)
帰宅行動トレーニング(アミ)
保護者参観日(パオ)
- 6月 利用者懇談会(館・園)
保護者会(館)
家族との連絡会(園)
じゃがいも堀り(友デ)
よりどりランチ①(友ホ)
ミニ運動会(友ホ)
板橋区ふれあい祭り(聴)
あじさいまつり(荘)
一日外出(アミ)
保護者勉強会(パオ)
- 7月 盆踊り大会(法)
七夕会(友デ・友ホ・砧ホ・砧デ)
地域交流盆踊り大会(聴)
家族懇談会(聴)
七夕まつり(荘)
個別面談(アミ)
学齡児遠足(パオ)
宿泊訓練(アク)
- 8月 夏祭り(友デ)
盆法要(友ホ・砧ホ)
- 9月 課外活動(友デ)
敬老会
(友ホ・砧ホ・砧デ・荘)
彼岸法要
(友ホ・砧ホ・荘)
利用者家族懇談会(砧ホ)
地域合同防災訓練(荘)
板橋区障害者スポーツ大会(聴)
生活講座(聴)
宿泊訓練(アミ)
療育参加日(パオ)
- 10月 合同運動会(法)
友愛ふれあい祭り(法)
リング狩り(友デ)
みんなの音楽会(友ホ)
バスハイク(砧デ)
旅行支援(聴)
外出支援(聴)
- 11月 課外訓練旅行(日帰り)(館)
宮様チャリティーボウリング大会
(館・園・コ)
課外活動(友デ)
ホーム喫茶②(友ホ)
バスハイク(友ホ)
秋の園遊会(荘)
宿泊旅行(荘)
宿泊訓練(アミ)
運動会(パオ)
- 12月 年末懇親パーティー(園)
利用者懇談会(園)
家族との連絡会(園)
おたのしみ会(友デ)
忘年会(友ホ・アク)
年忘れの集い(砧ホ)
よりどりランチ②(友ホ)
餅つき大会(友ホ)
年末お楽しみ会(砧デ)
- 遠足(パオ)
バス外出(アク)
豆腐ウエイキング(友ホ)
利用者懇談会(砧ホ)
納涼盆踊り大会(荘)
ぶどう狩り(荘)
バス外出(アク)
一日外出(荘)
ヒューマンぶらざまつり(港セ)
みなど区民まつり(アミ・アク)
療育参加日(パオ)

生活講座(聴)

板橋区記念文化祭(聴)

クリスマス年忘れ会(荘)

クリスマス会(聴・アミ・パオ)

1月 鏡開き(コ)

初詣(友デ)

新年祝賀会

(友ホ・砧ホ・砧デ・荘)

ホーム喫茶③(友ホ)

合同餅つき大会(聴)

新年会(阿克)

成人を祝う会(アミ・阿克)

保護者参加日(パオ)

2月 節分(友デ・砧ホ・砧デ・荘)

よりどりランチ③(友ホ)

家族会(友ホ)

観梅(砧デ)

外出支援(聴)

生活講座(聴)

個別面談(アミ)

療育参加日(パオ)

バス外出(阿克)

3月 課外活動(友デ)

ランチヴァイキング(友デ)

彼岸法要(友ホ・砧ホ)

ひな祭り(砧ホ・砧デ・荘)

利用者家族懇談会(砧ホ)

利用者懇談会(砧ホ)

家族懇談会(砧デ)

耳の日記念行事(聴)

一日外出(アミ)

遠足(パオ)

療育参加日(パオ)

学齡児遠足(パオ)

お楽しみ会(パオ)

修了式・お別れ会(パオ)

(注)

法(法人三大行事)

館(世田谷更生館)

園(友愛園)

コ(コーポ友愛)

友デ(友愛デイサービスセンター)

友ホ(友愛ホーム)

砧ホ(砧ホーム)

砧デ(砧デイサービスセンター)

荘(友愛荘)

聴(東京都聴覚障害者生活支援センター)

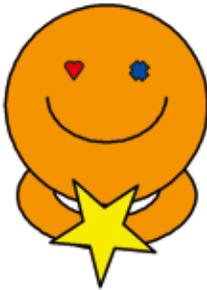
港セ(港区立障害保健福祉センター)

アミ(工房アミ)

パオ(パオ)

阿克(みなとワークアクテイ)

ゆうあいくん♪をご紹介します。



口が「友」⇒ アルファベットのU
目が「愛」⇒ ハートマーク♥と
「十字」⇒ 十字マーク✚

全体で「会」を表現しました。
胸に抱いている「星」★はハワイの南十字星の輝きと第三代総裁瑠子女王殿下のお印です。

友愛十字会は、昭和25年ハワイ在留邦人の方々からのご寄付を基金に、身体障害者の更生援護事業を行う団体として設立された社会福祉法人です。

編集後記

今年の梅雨は異常気候の影響か、梅雨の季節のイメージと違う、今までに経験したことのない、大量の雹が降ったり、突然の雷雨・大雨に見舞われたり、また、梅雨のない北海道で30度を超える異常気温を記録したりと、びっくりすることが続いています。私が育ったころの生活は、一般家庭には冷房もなく、それでも問題なく生活は出来ていました。しかし、現在はどこでもエアコンが普及しています。自動車の普及もそうですが、もしかしたら私達人間が、あまりにも快適で便利な生活を求めすぎたことが、地球温暖化の原因の一端になっているのではないかと、こんなことを考えている今日この頃です。

ゆうあい 第四十一号

平成二十六年七月三十一日
発行 社会福祉法人 友愛十字会
発行人 金 井 博

〒157-8575 東京都世田谷区砧
三丁目九番十一号
電話 (03) 341-6131